

一般質問通告書(令和5年3月定例市議会)

質問順序	質問者	質問の要旨	具体的内容	答弁順序	答弁者
1	安東 鉄男	1. 学校教育について	<p>教育長が就任して、3年が経過するが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大などにより、教育活動に多くの制約や制限がかかる中、リアルタイムの対応や判断の連続、さらに、教育界では「100年に1度の大改革」といわれるGIGAスクール構想の実現に向けた取り組みなど、本当に大変で重要な時期のかじ取りだったと思う。そこで学校教育について次の2点を伺う。</p> <p>(1) 学校教育に対するこれまでの取り組みの総括について</p> <p>(2) 学校教育における現時点での課題について</p>		
2	広田 精治	1. 河川の堆積土砂の撤去について	<p>市内各所の河川の経年的な堆積土砂による河床上昇は洪水危険性を高めている。そこで以下を伺う。</p> <p>(1) 河川の堆積土砂の撤去について</p> <p>① 山口川、六ヶ迫川、阿部川内川、赤星川上流の堆積土砂の現状認識と河床掘削の計画について伺う。</p> <p>② 左津留川の堆積土砂の現状認識と河床掘削計画について伺う。</p> <p>(2) 熊崎川水系河川整備計画について伺う。</p>		
		2. 白杵市議会基本条例について	<p>(1) 令和4年4月、市民に「開かれた議会」の実現をめざすなど議会の最高規範としての白杵市議会基本条例が制定・施行された。このことに対する市長の受止め、思いを伺う。</p>		
3	河野 巧	1. 今後の移住・定住政策について	<p>移住・定住に関する調査で、「白杵には若者の働き場や、宅地や住宅が少ない」との回答が多く、この要望に応え、課題解決に向けた一年にするとの市長訓示がこのほど行われました。そこで、現状と今後について伺います。</p> <p>(1) 野津東部工場用地への企業誘致等に対する進捗状況について</p> <p>① 企業誘致および建設予定地の現状について</p> <p>② 課題解決に向けた今後の予定について</p> <p>③ 若者向けの働き場確保についての考え方や方策の進捗状況について</p> <p>(2) 若者向けの宅地や住宅について</p> <p>① 野津中学校に隣接する市有地の活用について</p> <p>② その他の市有地の活用について</p> <p>③ 市営住宅の新設や若者向け専用部屋の設定について</p> <p>④ 空き家バンクの活用について</p>		
		2. 地方公務員の定年延長について	<p>令和5年4月1日以降、国家公務員と地方公務員を対象に、2年毎に1歳ずつの定年延長が行われ、これまでの原則60歳定年が令和13年4月以降には65歳定年となります。各自治体において、各種職員の定数が概ね決められていることから、今後の職員採用に偏りが無いのか、職員の年齢構成にひずみや負担が増えることはないか等心配されます。持続可能な白杵市のために大切な職員について、どのように考えているか伺います。</p> <p>(1) 行政職(幼稚園教諭含む)や消防職員についての職員定数に関する考え方について</p> <p>(2) 行政職(幼稚園教諭含む)や白杵市が採用する学校関係職員、消防職員についての会計年度任用職員に関する考え方について</p>		
		3. ユネスコ食文化創造都市加盟認定を受けた白杵市の今後の活動方針について	<p>一昨年(令和4年)11月8日にユネスコ創造都市ネットワークに白杵市が加盟認定された事を受け、これまで数百年かけ培われた伝統に対する市内外への啓発事業を令和4年度も様々、行なってきました。その中心的役割を担っている白杵食文化創造都市推進協議会の役割とこれまでの事業効果及び白杵市としての今後の活動方針について伺います。</p> <p>(1) 白杵食文化創造都市推進協議会の役割について</p> <p>(2) これまでの事業効果について</p> <p>(3) 今後の活動方針について</p>		
		4. 旧野津高校跡地利活用のその後について	<p>旧野津高校跡地利活用事業者が施設をオープンし、約半年が経過しました。市内でもまだまだ施設の事を知らない市民の方も多くいらっしゃいます。そこで現状と今後について伺います。</p> <p>(1) 現在の利用状況及び運営に関する報告内容や確認方法について</p> <p>(2) 他の空きスペースの活用を含めた今後の施設活用について</p>		

一般質問通告書(令和5年3月定例会市議会)

質問順序	質問者	質問の要旨	具体的内容	答弁順序	答弁者
4	芝田 英範	1. 農業振興について	(1) 農地法に基づく、遊休農地及び荒廃農地の解消対策について (2) 国の「みどりの食料システム戦略」の策定やユネスコ食文化創造都市の認定による「有機の里うすき」づくりに対する今後の推進について ① 土づくりセンターを核とした「ほんまもん農産物」をはじめとする有機農業の取り組みと臼杵の食文化との連携について ② 「みどりの食料システム戦略」が掲げる目標に対する臼杵市の有機農業の取り組みについて		
		2. 水道未普及地区の支援について	(1) 小規模給水施設地域の支援について ① 地域との「話し合い」での課題について ② 今後の支援体制・対策について		
5	大塚 州章	1. ふるさと納税政策について	(1) これまでの経営的取り組みと課題についてお伺いします。 (2) これからの戦略的取り組みと目標数値についてお伺いします。 (3) ふるさと納税に関連する産品開発部門や、観光及び産業との連携についてお伺いします。 (4) 民間事業者及びサイト運営会社等との連携についてお伺いします。 (5) 民間事業者が、ふるさと納税の産品開発や生産の取り組みについて、抱えている課題とそれに対する支援対策を考えているかお伺いします。		
6	戸匹 映二	1. マイナンバーカードの普及と活用について	(1) 臼杵市のマイナンバーカードの普及について ① カード普及に向けた取り組み状況を伺う。 ② マイナンバーカードのセキュリティに不安を抱いている市民の声があるが、マイナンバーカードの安全性について伺う。 (2) マイナンバーカードの活用について ① マイナンバーカードの現状の活用範囲及び今後の活用の方向性を伺う。 ② 臼杵市独自の自治体マイナポイント事業に取り組んでは如何か。		
		2. 空き家対策について	(1) 空き家対策の経過と現状について ① これまでの取り組みの成果と課題を伺う。 (2) 今後の空き家対策について ① 今後の空き家対策の動向と市の考えを伺う。 ② 放置空き家を生まないための対策として、不動産相続の制度や手続き・相談先などをまとめて、家屋の終活を案内できる「わが家の終活ノート」を作成し活用しては如何か。 ③ 空き家の解体・撤去を促進する目的で「空き家除去に係る固定資産税の減免制度」を創設しては如何か。		
		3. 市内の観光振興について	(1) 2024年福岡・大分デスティネーションキャンペーンへの対応の考えを伺う。 (2) ユニバーサルツーリズムの取り組みについて ① ユニバーサルツーリズムを意識した市内観光の整備や仕組みの充実が必要と考えるが如何か。 ② 高齢者や障がい者が安心して臼杵観光に来てもらえるよう、現状の市内の観光地や観光関連施設等のバリアフリー等の設備や手段・サービスをホームページ等の各種観光情報ツールでしっかり発信していく必要があると考えるが如何か。		

一般質問通告書(令和5年3月定例会市議会)

質問 順序	質問者	質問の要旨	具 体 的 内 容	答 弁 順 序	答 弁 者
7	奥田 富美子	<p>1. ヤングケアラーの支援について</p> <p>2. 障がい児の放課後等デイサービスについて</p>	<p>令和2年度に子ども本人を対象とした「ヤングケアラーの実態に関する調査研究」が行われ、世話をしている家族が「いる」と回答したのは、中学2年生5.7%、全日制高校2年生4.1%であるなどの実態が明らかになっています。</p> <p>(1) 調査結果を受けて本市における実態はどうなっていますか。</p> <p>(2) 令和4年度大分県はヤングケアラーの支援対策として①児童・生徒への周知啓発②相談窓口の設置③適切な支援へのつなぎ等があり、臼杵市での取り組み状況については9月定例会一般質問で答弁がありました。その後の進捗状況はどのようになっていますか。 また、「家庭養育ヘルパー」派遣市町村事業へ取り組む予定はありますか。</p> <p>放課後等デイサービスは、障がいや発達に特性のある児童・生徒(小学生・中学生・高校生)が放課後や長期休暇に通所施設を利用できるサービスです。特性のある子どもたちの居場所として、専門的サポートができるスタッフによる様々なプログラムが生まれ、子どもたちは安心して過ごすことができると聞きます。また、このことにより就労している保護者の大きな支援にもなっています。 臼杵市では近年そのニーズが増加し、市内の通所施設を利用できない方がいると聞きます。そこで臼杵市の現状と課題、今後目指す方向性についてお尋ねします。</p> <p>① 障がい児の放課後等デイサービスの実施施設数および、他市利用者も含む利用者数について</p> <p>② 臼杵市における相談体制やニーズの把握について</p> <p>③ 放課後等デイサービスの充実に向けて、その課題と今後の取り組みについて</p>		